

しょうれん 力障連「わ」 かい 報

<http://challenged-catholic.net/> No.93 2021.10.12 発行

もくじ 目次

かんとうげん おお つみ おも 巻頭言「大きな罪に思うこと」	しょうれんきょうりよくしさい はなふさ りゅういちろうしんぶ 力障連協力司祭 英 隆一朗神父	1
だい きけつさんほうこくおよ だい きよさん ざんてい 第13期決算報告及び第14期予算（暫定）について	かいけい むらかみ 会計 村上 かつ	4
けんしゅう かいさい 研修セミナー開催について	ふくかいちやう たなか のる 副会長 田中 実	6
ぜんこく しょうがい なかま し 全国の障害のある仲間を知るシリーズ		
	ながさき ちやうかくしょうがいしゃ かい 長崎カトリック聴覚障害者の会 長谷 ひろみ	7
	ぐんま しんしょうしゃ 群馬カトリック身障者グループ（群力身） 小池 まさお	8
しょうせきしょうがい 書籍紹介	かいけい むらかみ 会計 村上 かつ	10
みな きこう ねが 皆さまからの寄稿のお願い	へんしゅうちやう かいけい まさお 編集長 小池 政男	10
やくいんがい けんとうじこう けつていじこう 役員会の検討事項と決定事項	じむきやくちやう かいけい まさお 事務局長 小池 政男	11

かん とう げん 巻 頭 言

おお つみ おも 大きな罪に思うこと

しょうれんきょうりよくしさい はなふさ りゅういちろう しんぶ
力障連協力司祭 英 隆一朗 神父

ふたり おお つみ 二人の大きな罪

多くの方はご存じだと思う。知的ハンディをもつ仲間とともに生きるラルシュ共同体の創業者ジャン・バニエのことである。とてもカリスマ的な人であり、その思想は素晴らしいものだった。静岡かなの家（力障連の仲間）はラルシュ共同体に属しており、私にも身近な存在だった。彼は2019年5月に帰天し、障害がある仲間にも囲まれた素晴らしい葬儀が行われた（私はオンラインで参加）。その後、私は彼の列福運動が始まるのではと

期待していた（それくらい尊敬していた）。ところが、もたらされたニュースは衝撃的なものだった。国際ラルシュ連盟の発表によると、彼は生前、アシスタントの女性にセクシャルハラスメントをしていたというものだった（2020年2月発表）。複数の女性に対して、霊的指導の場を通して、性行為を強要していたというのだ。近年、カトリック司祭によるセクハラが大きな問題となっていたが、ジャンも加害者の一人だったのだ。

21年3月、力障連の仲間であるKさん（男性）が別の障がい者（女性）を殺害するという痛ましい事件が起こってしまった（力障連として名前を公表していないので、Kさんとして記しておく）。その事件はテレビのニュースで報道されるほどの事件であった。現在、彼は拘留所に拘留されていて、刑事裁判前の審議をしている段階である。私

はこの事件に深いかわりがあるのだが、
弁護士から裁判が終わるまでは背後関係など
は話さないように守秘義務を課せられている。
現在のところ、詳細を語るができない。
い。

両方の事件とも、障がい者の仲間と深い
関係がある。この二つの事件で、私自身大きな
衝撃を受けた。この大きな打撃からまだ立
ち直っているとは言えないが、現時点で考
えていることを分かち合っておきたい。

闇を解明する

人間は必ず光と闇の両方のかかえている。
光の部分の方が人目に触れやすいかもしれ
ない。闇の部分は多くの人は隠されているこ
とが多い。闇だからこそ、隠しておくのが人
の常だろうか。

それでも、その闇をしっかりと直視し、何
があったかを解明することは、とても大切な
ことだと思った。客観的に事実を解明して
おくことは、人道上とても大切なことだ。と
ころが、人間はなかなかそれができない。例
えば、かわりのある人たちがその闇を知った
ときに、動転してしまい、隠蔽工作に走って
しまうことがよくある。カトリック教会が
長年にわたって、司祭のセクハラ問題を隠蔽
してきたことは事実であり、それは闇に直面
できない人間の弱さがそのまま現れているよ
うに見える。

私があえてこの記事を書いている理由の一
つは、闇を隠したままにしておくのはよく
ないという思いからだ。カ障連のメンバーで
関係のある方々の中で、この闇をしっかりと
見つめる必要性を感じている方もおられる
だろう。

その点に関して、国際ラルシュ連盟がジャ
ンの調査を客観的に行い（第三者委員会に
調査を依頼して）、その結果をきちんと公表

したことは、本当に誠実な態度だった。その
報告書（手紙の形式）はインターネット上で
公開されているので、日本語で読むことが
できる。

Kさんについては、裁判の関係で今は公に
語ることはできないものの、裁判を通して、
真実が明らかにされ、公正な裁きがなされる
であろう。闇が司法によって公明正大に裁か
れることに、少しは救いがあると考えている。

一番の問題は、本人の心の中にある闇その
ものである。ジャンはもう死んでしまったの
で、本人に問いただすことができなくなって
しまった。Kさんの場合、定期的に面接し
ているが、今の段階では、よく分からない。
本人もなぜそんなことをしてしまったのか、
よく分からないと言っている。犯罪行為とい
うのはどこまでいっても理不尽なものであ
り、理性で割り切ることができないことかも
しれない。それでも少しでも闇に光を当てて
いきたい。

いやしとゆるしを願う

そのような中で、とても大切なことは、い
つも被害者側に視点をおいて、被害者に寄
り添う態度を第一にすべきであろう。加害者
を安易に擁護すると、被害者を傷つけること
に直結してしまう危険性がある。いつも被害
者の立場から物事を考え、進めていくべき
であろう。

ジャンのケースでは、ラルシュのメンバー
が被害者に寄り添っているだろう。Kさんの
ケースでは、弁護士より被害者家族と絶対に
接触しないようにと厳命されているため、ど
のような状況なのかも把握できない歯がゆさ
がある。そうであったとしても、被害者の
立場からその出来事を見て、被害者とその
家族の方々のために祈りをささげていき
たい。できることならば、被害者の方々の心

いやされ、前を向いて歩めるように手助けを
していきたい。実際は非常に難しいことだが、
少なくとも祈りの中で願い求めている。

また、直接の被害者や被害者家族でなく
とも、関係者に大きな傷を与えてしまった。
両方の事件とも、私のまわりで多くの人が傷
ついたままである。これらの事件をきっかけ
として、自分の心の闇や傷に触れること
になって、多くの人が深刻に苦しんでいる
(私自身、まだ心の整理ができていと言え
ない)。傷ついた多くの人びとにいやしが与
えられ、ゆるす心が与えられることを手助け
したいと願っている。ただ、どのようにすれ
ばよいか分からないままである。人びとの心
の傷がどこかで恵みに変えられていくことを
願い求めている。

Kさんのことで気づいたことの一つに、
加害者側の人びとをサポートする難しさがあ
る。特に、加害者の家族は自分のことではな
いの、連帯責任を負わせられるようになり、
非常にづらい立場に追いやられてしまう。彼
らも被害者なのだが、加害者の立場にひとく
くりにされてしまう。加害者支援そのものに、
大きな賛同を得ることができないのも現実だ
(なぜ悪いことをした人を助ける必要がある
のかという意見)。それでも、傷ついて困窮
する人がいる以上、できる限りのことはした
方がよいと思っている。

悔い改めと償い

加害者に大切なことは、自分自身でしっ
かりと闇を見つめられるかどうかであろう。
ジャンの場合、死後、彼の犯罪が明らかに
なったので、直接問い詰めることはできない。
彼には厳しい私審判があっただろう。神の前
で、自分のことを真摯に反省せざるを得ない
状況におかれていると推測される。そこで、
本人が心から悔い改められるかどうかであろ

う。彼に悔悛の心が与えられるように願って
いる。Kさんの場合は、これから正当な裁判
があるから、そこで悔い改めのチャンスが与
えられるだろう。私もできる限り、手伝いた
いと思っている。

心から悔い改めるならば、神からゆるしが
与えられるだろう。しかしながら、本人が
果たすべき償いは残る。自分が犯した罪の
穴埋めはしなくてはならない。ジャンの場合
は、心の浄めのために、かなり重くて、長い
煉獄を過ごさねばならないだろう。Kさんの
場合、かなり長い懲役刑が与えられるという
予測である。その償いの期間を、自分を見つ
め直し、真の悔い改めと償いの日々として過
ごしてほしいと思う。

闇から光へ

皆さんの多くは、犯罪に加担することもな
く、犯罪に巻き込まれない人生を送っておら
れるだろう。しかしながら、私たちの心の中
にも、光と闇がある。闇の部分はしっかりと
見つめ直し、回心することが必要なことがあ
るのではないかと。闇には、人を傷つけた記憶
と、人から傷つけられた記憶の両方がある。
闇を隠して、そのままにしておく、さらに
悪化してしまうこともある。できれば、一人
ひとりが自分の闇に光を当てていけることを
願っている。

イエスはニコデモに次のように仰せになっ
た、「光が世に来たのに、人びとはその行い
が悪いので、光よりも闇の方を好んだ。それ
がもう裁きになっている。悪を行う者は皆、
光を憎み、その行いが明るみに出されるのを
恐れて、光の方に来ないからである。しかし、
真理を行う者は光の方に来る」(ヨハネ3章
19節～21節)。私たち一人ひとりが闇から
光の方に向かって歩めますように。

第13期決算報告書及び第14期予算(暫定)について

会計 村上 かつ

従来は第13期決算報告及び第14期予算につきましては、カ障連全国大会・総会の席上で採択していただくものですが、今回はコロナ禍により総会開催が1年延期となりました。つきましては6月22日の役員会で承認させていただいた会計報告書及び第14期予算(暫定)を掲載させていただきます。

第13期 決算報告

2018年4月1日～2021年3月31日

単位: (円)

収入の部				支出の部			
科目	第13期決算	内訳 2018年度 2019年度 2020年度	第13期予算	科目	第13期決算	内訳 2018年度 2019年度 2020年度	第13期予算
前年度繰越金	1,433,842	1,433,842 1,660,759 3,640,887	1,433,842	印刷費	2,087,133	636,188 687,710 763,235	1,200,000
会費	3,142,500	855,500 1,127,000 1,160,000	1,600,000	会議費	610,175	444,335 165,840 0	1,300,000
寄付	3,662,277	1,180,457 1,910,820 571,000	3,500,000	交通費	1,082,610	760,211 322,399 0	1,900,000
利子	33	8 5 20	100	通信費	1,457,192	512,604 541,126 403,462	1,600,000
雑収入	0	0 0 0	10,000	事務消耗品費	17,069	15,229 1,840 0	20,000
カ障連を支える会	2,306,015	872,877 697,107 736,031	2,400,000	事業費	291,182	291,182 0 0	1,500,000
				総会積立金	0	0 0 0	1,200,000
				分担金	30,000	10,000 10,000 10,000	30,000
				ホームページ費	42,980	12,176 9,132 21,672	60,000
				雑費	16,757	0 16,757 0	50,000
				予備費	0	0 0 0	83,942
				小計	5,635,098	5,635,098	8,943,942
				次期繰越金		4,909,569	0
合計	10,544,667		8,943,942	合計	10,544,667		8,943,942

以上のとおり相違ないことを報告致します

2021年 4月 1日
会計

村上 かつ

2021年 5月 12日
監事

南地秀治

2021年 5月 31日
監事

高橋秀治

だい き よ さん ざんてい
第14期 予算 (暫定)

2021年4月1日から2023年3月31日

単位：(円)

収入の部		支出の部		備考
科目	14期 予算	科目	14期 予算	
前年度繰越金	4,909,569	印刷製本費	2,000,000	(旧・勘定科目 印刷費) 会報印刷作成等
会費収入	2,000,000	会議費	1,500,000	会議会場費宿泊費等 要約筆記、手話通訳謝金
寄付収入	3,500,000	旅費交通費	2,500,000	(旧・勘定科目 交通費) 役員会、ボランティア、 加盟団体意見交換会交通費
受取利息収入	100	通信運搬費	1,000,000	会報発送費 会費、寄付領収書用はがき代
雑収入	10,000	消耗品費	50,000	(旧・勘定科目 事務消耗費)
カ障連を支える会より支援金	2,400,000	事業活動費	2,000,000	(旧勘定科目 事業費) 加盟団体意見交換会 セミナー講演会費用等
		総会積立準備金	2,400,000	総会準備金 13期長崎大会、 14期候補・高松大会
		諸会費	30,000	(旧・勘定科目 分担金) 中央協議会へ公認団体登録料
		公報費	60,000	(旧・勘定科目 ホームページ費)
		雑費	50,000	上記勘定科目以外の支出
		予備費	129,669	予備の費用
		業務委託費	1,000,000	(新・勘定科目) 会報発送作業委託費
		手数料	100,000	(新・勘定科目) 振込手数料等
		次期繰越金	0	
合計	12,819,669	合計	12,819,669	

研修セミナー開催について

副会長 田中 実

昨年の研修セミナーは東京の吉祥寺教会で開催予定でしたがコロナ禍によって中止させて頂きました。

今年はコロナが終息しないことを予測し、オンライン（Zoom）開催を計画しております。

コロナの終息状況によっては会場開催との併用（ハイブリッド）も検討させていただきます。

なお正式なご案内及び参加申し込みについては11月中旬から当会のホームページ及びフェイスブックで掲載致しますので宜しくお願い致します。

力障連セミナー（予定）

1、日時 2021年12月12日（日曜日）
13時半から15時半（予定）

2、場所 オンライン（Zoom）開催
※新型コロナ動向で会場開催（名古屋）併用も検討

3、内容 ■講演と分かちあい
■テーマ「インクルーシブ防災」
みんなで助かるための福祉×防災×コミュニティ

4、講師 ■湯井恵美子氏
大阪府立支援学校PTA協議会OB会防災担当
福祉防災コミュニティ協会 上級コーチ
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科博士課程

5、その他 ■参加申し込みは先着順で参加人数は100名までに制限いたします
■オンライン参加者は各自でZoom接続環境の準備が必要になります
■正式なご案内及び申し込み受付は11月中旬から行ないます。日本
カトリック障害者連絡協議会ホームページ及びFacebookに掲載致します

現段階での問い合わせ先 力障連副会長 田中 実
fxmichandeesu60@gmail.com ※（セミナー専用アドレス）

ぜんこく しやうがい なかま し 全国の障害のある仲間を知るシリーズ

機関紙「わ」88号の加盟団体活動報告で「カトリックさいたま教区障がい者連絡協議会（共愛会）」、「ラルシュかなの家」、「カトリック名古屋障害者連絡会」を紹介しており、更に91号では新規加入して頂いた一般社団法人「ふくのね」の紹介をさせて頂きましたが今回は「長崎カトリック聴覚障害者の会」、「群馬カトリック身障者グループ（群力身）」の活動状況を掲載させて頂きます。

ながさき 長崎カトリック ちょうかくしやうがいしや かい 聴覚障害者の会

ながたに ひろみ
長谷 広美

早いもので、もう9月、秋がやって参りました。先月はコロナ感染数急拡大に加えて、災害級の大雨に見舞われたところもあり、心配続きの日々でしたが、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか？

「長崎カトリック聴覚障害者の会」について簡単な紹介をさせていただきます。

わたしたちの会は、昭和59年に「聴覚 障害者にも手話ミサを」を目的に結成され、長崎市の教会を拠点に活動しています。

今年で37年目になりますが、いつも会員が聖書など、勉強会やクリスマス会など行事に参加し、手話で楽しく交流を深めています。

しかしながら、昨年3月からコロナの感染防止対策のため、すべての行事、活動が

中止となり、寂しい日々を過ごしています。

「活動ができない」「再開の見通しが立たない」など、あちこちで悲痛な声があがっています。今は、「すべての命を守る」ための手段として、密を避けて皆で集まらないように気をつける他しかたがないと耐えているところです。

私たちは沢山の忍耐を強いられており、いつまで続くか見当がつかない状況ですが、その我慢がすべての命を守るための尊い行いであり、いつかきっと、コロナ消滅に実を結び、もとの日常生活が戻ると信じて、関係者の皆さまとともに頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

ながさき ちょうかくしやうがいしや かい
「長崎カトリック聴覚障害者の会」
ながさきしや しやわかい させ ぼ し ぶ
「長崎支部 主和会」・「佐世保支部 みことば会」の歩み。

★1984.11.11

しやわかい けっせい はつしやうかい にしぎか せいじん
「主和会」結成。初集会（西坂26聖人のイエズス会応接間にて）

★1985.11.17

しやわかい しやうねんいわいかい にしぎか せいじん
「主和会」1周年祝会（西坂26聖人のイエズス会応接間にて）



★1994.7.24

「みことば会」^{かい} 結成。^{けっせい} (佐世保 ^{さ せ ぼ} 大野教会 ^{おおのきょうかい})

★1994.11.20

「長力聴会」^{なが ちようかい} 設立10周年記念 (日本26 ^{にほん} 聖人記念館2 F 会議室及びチャペル ^{せいじんきねんかん かいぎしつおよ})

★2009.11.23

「主和会」^{しゅわ かい} 結成25周年・「みことば会」^{かい} 結成15周年記念ミサ (水主町教会 ^{けっせい しゅうねんきねん かこまちきょうかい})

各地区での主な活動&手話通訳派遣

・長崎地区

○手話ミサ、手話通訳付きミサ

浦上教会 (第2日曜日9:30)

八幡町教会 (毎土曜日19:00)

諫早教会 (第1日曜日9:00)

○聖書勉強会 第1水曜日19:00

○ろう者聖書勉強会

第4金曜日19:00

○支部会議 第3月曜日19:00

○神学校手話講座へ講師派遣 毎月1回

・佐世保地区

○勉強会 第1木曜日19:00

※「長力聴会」黙想会 毎年3月第3日曜日

・手話通訳派遣

○2月 日本26聖人殉教記念ミサ

○3月 司祭助祭叙階式

○4月 復活徹夜祭

○5月 雲仙殉教記念ミサ

○8月9日 長崎地区平和祈願ミサ



15日 佐世保地区平和記念ミサ

○9月 大村殉教記念ミサ

○12月 クリスマスイヴミサ

群馬 群馬カトリック身障者グループ (群カ身)

こいけ まさお
小池 政男

1 歴史

創立は1962年 (昭和37年) です。今から

59年前のことです。

経緯は1961年に東京・赤羽教会の金沢 恂

さん代表「心の灯」の会員であった、(旧姓)

富澤和子さん (現高崎教会相澤功一夫人) が

群馬県 群馬カトリックの牧野房雄神父様を訪問し

出会ったことから始まりました。また、その

時には既に設立していた「群馬カトリック

盲人会」(カ盲会)の支援も頂き、「心の灯」

北関東支部としてスタート致しました。

そして1984年に「心の灯」から独立し

て名称も「群馬カトリック身障者グループ」

(群カ身)を創設いたしました。

初代会長はの高崎教会の相澤功一氏、

二代目は渋川教会の目崎誠二さん、そして

現在は三代目の桐生教会の三辻照治さんで

す。

2005年には群カ身設立として「20年のあ



ゆみ」を^{さくせい}作成し^{かいいん}会員に^{はいふ}配布いたしました。

2 ^{かつどう}活動^{まいとし}(毎年)

〔1〕 1月の第4日曜日に群馬県内の各教会を持ち回りで、楽しい新年会を開催。開催教会は開催に合わせてバリアフリー化等に協力してくれています。参加者は60～80名位。

〔2〕 5月頃会員の信仰を深めるために黙想会を開催。

〔3〕 10月頃には親睦を深めるために旅行会の開催。〔主に県内〕

但し力障連の全国大会がある年は1991年の第4回の仙台大会から毎回、大型バスで参加しております。その後東京、広島、高崎、大阪、新潟、名古屋、札幌、横浜大会に40人前後で大型バスで参加してきました。

特に2000年の力障連高崎大会では当会が中心で準備のスタートをきり、司教様たちにも支援を頂き、群馬だけでなく、埼玉、栃木、茨城県にも広げ

きょうくない ぜんきょうかい
教区内の全教会をキャラバンして、力
しょうれん しょうかい しょう
障連の紹介と障がいについての理解
ひろ
を広げました。その過程でカトリッ
きょうくしょう
クさいたま教区障がい者連絡協議会
きょうあいかい せつりつ
(共愛会)が設立されました。そして
たいかい おおぜい かた さんか いただ すば
大会には大勢の方に参加して頂き素晴
たかさきたいかい
らしい高崎大会にすることが出来、
いちどうおお よろこ いただ
一同大きな喜びを頂きました。

〔4〕 評議委員会
じょうき ぎょうじ おこな ねん かいひょう ぎ
上記の行事を行うために年1回評議
いいんかい かいさい
委員会を開催。

3 特徴と今後の活動目標

群力身のメンバーは障がいを持っていてもいなくても明るく思いやりを持っている人が多く、色々な行事に参加しても楽しく誰が障がいを持っているかを感^{かん}じません。そこに大^おきな原動力があると思います。

昨年からのコロナ禍によって活動は休止しております。

更に会員は80歳以上の方が多く、ある方は^さら ^{かいいん} ^{さいいじょう} ^{かた} ^{おお} ^{かた}
更に会員は80歳以上の方が多く、ある方は
きてん ^き ^{せつ} ^{はい} ^{かた} ^{ねん} ^ふ
は帰天されたり、施設に入られる方が年々増えてきています。



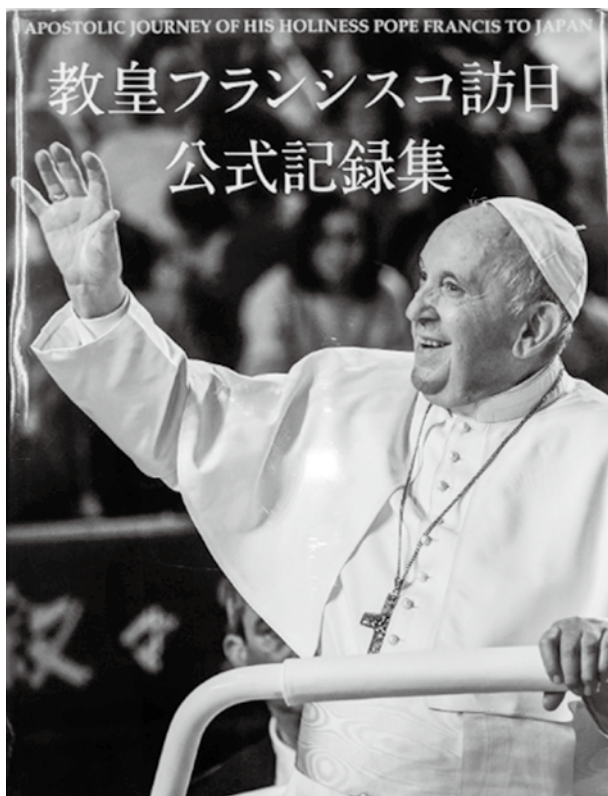
しょうれんさつぽろたいかいさんかきねん おたるうんが
力障連札幌大会参加記念 (小樽運河にて)

じ かい ながさきたいかい ざんねん おおぜい さん か
次回の長崎大会では残念ながら大勢の参加
きたい じょうきよう
は期待できない状況です。

しよせきしやうかい 書籍紹介

かいけい むらかみ
会計 村上 かつ

きやうこう ほうにちこうしききろくしゅう
教皇フランシスコ訪日公式記録集がカト
リック中央協議会より発行されました（定価
えん ぜい なか えどとおるかいちやう かんぜんさんが
4500円＋税）。中には江戸徹会長の完全参加
びやうどう じつげん けい い しのはらみえこ
と平等のミサが実現した経緯が、篠原三恵子
さんからは参加されての感想の文章が掲載さ
れています。



また、あの日の感動を伝える500枚以上の
しゃしん しゅうろく きやうこうさま しゆくふく
写真が収録されており、教皇様に祝福されて
かいいん あなみずこういち こうふきやうかい しゃしん
いる会員の穴水公一さん（甲府教会）の写真
おお けいさい あなみず
が大きく掲載されています。穴水さんから
せんじつしゅうばん きやうこうほうにちきろくしゅう
「先日出版された『教皇訪日記録集』171ペー
ジの写真に私が写っています。力障連に推薦
して頂いたお陰です。一生の宝にして今を生
きる為に祈ります。神に感謝」と喜びの音が
よ 寄せられました。

パパモービルから降りて力障連席に近寄ら
れる、車いすの人の足に手を当てられ、祝福を
きやうこうさま かんどう いちど ほんて
された教皇様。あの感動をもう一度、本を手
らんに おも しょうかいいた
にご覧いただけたらと思い紹介致します。

みな 皆さまからの きこう ねが 寄稿のお願い

へんしゅうちやう こいけ まさお
編集長 小池 政男

- 1 今年（ことし）は日本（にほん）でパラリンピック（かいさい）が開催（かいさい）され
ました。そのパラリンピック開催（かいさい）に際（さい）し
て賛成（さんせい）あるいは反対（はんたい）や、また色々（いろいろ）な障害（しょうがい）を
も 持っている選手（せんしゅ）が頑張（がんば）っている姿（すがた）から感
など じたこと等の感想（かんそう）をお寄せ頂（よ）きたいと思
いますので宜（よろ）しくお願い（ねが）致します。
- 2 パラリンピック（かいさい）以外（いがい）でも障害（しょうがい）について、
あるいは力障連（しょうれん）に対して日ごろ（ひ）感じてい
るご意見（いけんとう）等（よ）をお寄せ頂（よ）きたいと思
いますので宜（よろ）しくお願い（ねが）致します。
（1,000字（じていど）程度（しょうどく）、テーマ、所属（しよぞく）または都
道府県名（とうふけんめい）と氏名（しめい））
- 3 今（いま）コロナ禍（か）の中で外出（がいしゅつ）が抑（おさ）えられており
ます。そんな中（なか）で障害（しょうがい）に関するお勧め（すす）めし
たい書籍（しよせき）がありましたらぜひ（しやうかい）ご紹介（かい）くだ
さい。宜（よろ）しくお願い（ねが）致します。
（題名（だいめい）、著者（ちやしゃ）、出版社名（しゅつぱんしゃめい）、価格（かかく）と簡単（かんたん）な
しょうかいぶんなど
紹介文（しょうかいぶん）等（とう））

きこうさき こいけまさお
寄稿先：小池政男

じゅうしょ
住所：370-0851

たかさきしかみなかいまち
高崎市上中居町534-15

TEL・FAX：027-325-0543

メールアドレス：

m.k486488@gmail.com

し き び
締め切り日：パラリンピックについては
じかいごう けいさい おも
次回号で掲載したいと思いますので11
／10（水）必着でお願い致します。そ
ほか とく し き び してい
他のものは特に締め切り日は指定しま
せんが先着順で掲載したいと考えていま
す。

やくいんかい けんとうじこう けつていじこう 役員会の検討事項と決定事項

じむきょくちょう こいけ まさお
事務局長 小池 政男

か ひ つつ かいぎ
コロナ禍によって引き続きZoom会議で
まいつき かい きほん かいさい
毎月1回を基本に開催しております。

がつ がつ やくいんかい ほうこく
4月から8月の役員会について報告いたし
ます。

ねんだい かい やくいんかい か 2021年第5回Zoom役員会 4／13（火）

どうやくいん さっしょうじけん ほうこく たいおう
1 当役員の殺傷事件についての報告と対応
について検討する。

かいぎ ていじゅんしよ さくせい
2 Zoom会議の手順書を作成する。

けんしゅう
3 研修セミナーについて

テーマは「インクルーシブ防災」で2月
の会議で決定しているので、講演者の
けんとう おこな けつろん いた
検討を行ったが結論には至らなかった。

※インクルーシブ防災とは、「障害者や
こうれいしゃ ふく ひと と のこ
高齢者を含む、あらゆる人を取り残さ
ない防災」という考え方です。

だい き かいけいほうこく
4 第13期（2018～2021.3）の会計報告
と役員改選について

ほんらい ぜんこくたいかい けんとうしょうにん
①本来は全国大会で検討承認されるべきも

なので、ながさきたいかい か
長崎大会がコロナ禍によっ
て1年延長になったので、とりあえずは
やくいんかい けんとう
役員会で検討することにした。

だい きやくいん にんき ながさきたいかい えんちよう
②第13期役員の任期も長崎大会まで延長
することになった。

かめいだんたい いけんこうかんかい かいぎ
5 加盟団体の意見交換会（Zoom会議）

げんざい かつどうほうこくていしゆつ いらい
①4／1 現在までの活動報告提出の依頼を
する。

とうかい しゅうせい ながさきたいかい
②当会のリーフレットの修正は長崎大会に
あ さくせい
合わせて作成する。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう て び さくせい
6 障害者差別解消法の手引き作成

たなかふくかいちよう
①田中副会長がリーダーとしてプロジェク
トチームを作り案を作成し、状況に合わ
やくいんかい ほうこくけんとう おこな
せて役員会で報告検討を行うこととす
る。

さいかい
7 フェイスブック再開について

がつ へいさ さいかい
①3月から閉鎖していたが再開することに
する。

ねんだい かい やくいんかい か 2021年第6回Zoom役員会 5／18（火）

どうやくいん さっしょうじけん ほうこく
1 当役員の殺傷事件についての報告と
かなぞくなど しえん けんとう
家族等の支援について検討する。

ねんだい かい やくいんかい か 2021年第7回Zoom役員会 6／22（火）

だい きかいけいほうこくおよ だい きよさんあん
1 第13期会計報告及び第14期予算案につ
いて検討し承認されました。

しんきかめいだんたい しょうにん
2 新規加盟団体の承認について

えむかえサクラ マザーの会（長崎 教
く しょうにん
区）が承認されました。

かめいだんたいいけんこうかんかいかいさいじき
3 加盟団体意見交換会開催時期とテーマ

①4／1 現在の各会の報告を受けました。
その中で、昨年は札幌のカリタス家庭支
えん へいしよ ともの たいかい
援センターが閉所に伴い退会されました
が、今年も残念ながら福島県のカトリッ
ことし ざんねん ふくしまけん
ク・グローリア会と福岡オリーブの会の
たいかいきぼう
退会希望がありました。

いけんこうかんかい かいさいじき かいぎほうしき
②意見交換会の開催時期はZoom会議方式
おこな じゅんび じかん
で行う準備に時間がかかるため10

がついこう
月以降とする。

- ③テーマは「インクルーシブ防災」として、
なか しょうがいしゃさべつかいしゅうほう お こ
中に障害者差別解消法を織り込む。

2021年第8回Zoom役員会 7 / 27 (火)

- 1 今後のZoom会議についてルールを決める。

- 2 第14期役員会選出について

- ①次期会長に田中実現副会長が役員会として選任されました。

ほか しんやくいん しんかいしゅう せんしゅつ
他の新役員は新会長が選出することになりました。

- ②長崎大会までの役員会は、第13期役員と第14期の役員合同で開催することになりました。

- ③第14期新活動方針は、第14期の役員が中心で策定することになりました。

- 3 研修セミナーについて

- ①テーマ「インクルーシブ防災」

- ②講演者：湯井恵美子氏

- ③プロフィール：大阪府立支援学校PTA協議会OB会防災担当、福祉防災コミュニティ協会上級コーチ、防災企業連関西そなえ隊事務局、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科博士後期課程

- ④日時：12月12日（日）13：30～15：30（予定）

- ⑤場所：基本はオンライン開催、コロナの動向で会場開催（名古屋）も検討する。

2021年第9回Zoom役員会 8 / 31 (火)

- 1 研修セミナーについて

- ①日時：12月12日（日）13：30～15：30予定

- ②場所：オンライン（Zoom）開催。
新型コロナ動向で会場開催併用も検討。

- ③講師：湯井恵美子氏

- ④参加者は各自Zoom接続環境の準備が

ひつよう
必要となります。

- ⑤正式なご案内及び申し込み受け付けは
がつちゅうじゅん おこな
11月中旬から行いますので力障連の

ホームページ及びフェイスブックに
けいさいいた ほんごうけいさい しょうれん
掲載致します。※本号掲載の力障連セ

ナー予告参照

- 2 加盟団体意見交換会

- ①4月の段階では10月以降となっていた

が、まずは12月12日開催の研修セ
が ぜんりょく そぞ かめいだんたいけんこうかんかい
ナーに全力を注ぎ、加盟団体意見交換会

は来年の3月を開催予定とすることになりました。

- 3 第13期活動計画について

- ①全国の仲間を知る。

・加盟団体等の活動報告を引き続き
きかんし けいさい
機関紙「わ」で掲載していく。

・カトリック教会情報ハンドブックに
しょうがいしゃかんれんだんたい きかんし
掲載している障害者関連団体に機関紙

「わ」を送付して理解を広げていく。

- 4 長崎大会準備状況

- ①来年の秋頃の計画で検討している。

- ②会場は長崎市内の一般の会場、ミサは近くの教会で検討を進めている。

- ③テーマは「インクルーシブ防災」

サブテーマは「神の愛は全てを包む」で
けんとう すす
検討を進めている。

連絡先及びご入会の申し込み先

事務局：〒466-0037 名古屋市中区恵方町2-15

名古屋教区カリタス福祉委員会室内

日本カトリック障害者連絡協議会

Tel：052-852-1426 fax：052-852-1422

郵便局振替口座番号：00100-7-31254

（同封の振込用紙をご利用ください）

会費：年間1口 1,000円

（団体 10口以上 個人 1口以上）

加入者名：日本カトリック障害者連絡協議会